



東綾瀬きらきら保育園

重要事項説明書

## 1. 保育理念・方針・目標

### ●保育理念

「地域で子どもを育てあい、安心・安全なコミュニティの創造ができる保育」

「人が、心が、すべて」という**基本理念**を原点に、心身ともに健やかな子どもが地域で安心・安全に成長し、家庭に明るさをもたらすような施設の運営を心がけていきます。

保育にあたっては、子どもの人権や主体性を尊重し、子どもが最も幸せな成長を遂げることができるよう、職員一同、保護者、地域の方々と力を合わせより良い保育を目指します。

### ●保育方針

#### ・子どもの自立を促す保育

自主性を大切に見守りながら、子どもの考える力を養えるよう促していきます。

#### ・遊びを通して学びを育てる保育

様々なあそびを体験する中で、いろいろな物・事に対して興味を深めていきます。

#### ・創造豊かな心を育む保育

制作や音楽活動を通して、家庭では出来ない体験をし、創造豊かな心を育みます。

#### ・コミュニケーションを大切にした保育

友達や保育者との関わりの中から、優しさや思いやりの心を育てていきます。

#### ・地域に開かれた保育

行事等を通して地域に人々との交流を深めていきます。

#### ・日本の伝統文化を伝える保育

日々の生活や行事等を通して、文化や季節を伝承していきます。

### ●保育目標

- ・遊びを楽しめる子に
- ・感情表現が豊かな子に
- ・自ら考え、行動できる子に

## 保育事業経営理念

### 1.事業の目的

社会的貢献として、待機児童の解消と共に、適正な料金での保育に対し、より高い質を提供し、企業としての利益を得る

### 2.事業の方向性

「総合生活文化企業」として、働く育児世代のライフスタイルに応じた的確なサービスを提供し、ワークライフバランスを促進する

### 3.事業部の価値観

「保育」の意義と可能性を柔軟に理解し、子どもと保護者に対して、常によりよいサービスを追求めし続ける

### 4.顧客に対する姿勢

子どもの変化に敏感に反応できる観察力を持ち、保護者の声には真剣に耳を傾ける

### 5.社員に対する姿勢

事業の目的と社会的価値を理解し、誠実な姿勢でより高い観点での企画・サービスを求める

### 6.地域に対する姿勢

日々の生活の中で、子どもたちの成長を地域社会と共に暖かく見守れる環境にする

## 7.経営理念

少子化問題が進み、核家族化・世帯の小規模化が如実に現れている。そうした中で、共働きの家族が増加し、保育の需要は高まっている。こうした社会背景の中、育児と就労の両立に対する安心感を、ゆるぎなく提供することが、総合生活文化企業としての責務であると考えている。

## 8.社訓

一、お客様に喜びを

一、社員に生活向上を

一、会社に繁栄を

## 保育所施設の基本理念

当社が掲げる、「人が、心が、すべて」という基本理念を原点に、心身ともに健やかな子どもが地域で安心・安全に成長し、家庭に明るさをもたらすような施設の運営を心がけていきます。

## 2. 会社概要

商号	スターツケアサービス株式会社
設立	2003年7月30日
資本金	1億円
代表取締役	吉井 はるか
本社	東京都江東区木場5-8-40 東京パークサイドビル12F
事業内容	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）、特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム）、サービス付き高齢者向け住宅、小規模多機能型居宅介護、通所介護（デイサービス）、居宅介護支援、訪問介護、介護タクシー、障がい者福祉サービス、シニア賃貸住宅、福祉用具貸与・販売、認可保育園、企業主導型保育園、調剤薬局 (2022年10月現在)

### 3. 保育園概要

種別	保育所						
名称	東綾瀬きらきら保育園						
住所	〒120-0004 東京都足立区東綾瀬 2-17-8						
電話	03-5682-2620						
FAX	02-5682-2621						
Mail	KirakiraHigashiayase@starts.co.jp						
施設長氏名	高坂 知恵						
開設年月日	2009年10月1日						
対象年齢	0歳児～就学前児童						
入園定員	100名						
	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
	人数	9名	15名	18名	18	20名	20名
職員数	施設長	1名	園務をつかさどり、職員の監督をする				
	主任保育士	1名	園長を助け、園長に事故のあるときはその職務を代理する				
	常勤保育士	15名	園児の保育に直接従事する（園児数により変動する）				
	看護師	1名	園児の健康管理をする				
	非常勤職員	8名	常勤保育士の補助をする（園児数により変動する）				
	事務職員	1名	園の経理など事務全般を行う				
	栄養士	1名	（委託：株式会社魚国総本社）				
	調理員	4名	（委託：株式会社魚国総本社）				
自己評価の概要	職員による保育内容等の自己評価を年4回実施し、保育の質の向上に努めています。						
嘱託医	中島小児科 所在地：足立区足立 4-41-6 電話番号：03-3852-5241						
嘱託歯科医	足立区の指示の元、毎年担当園医が決定し健診を行います。						

#### 4. 施設概要

構造	木造（枠組壁工法）2階建て
延床面積	861.98 m <sup>2</sup>
園庭	490.49 m <sup>2</sup>
厨房設備	オール電化厨房
セキュリティー	機械警備・電気錠ドア 学校110番(警察通報装置)

#### 5. 開園日・開園時間・休園日（保育標準時間）

開園日	月曜日～金曜日	土曜日
保育標準時間	7時30分～18時30分	7時30分～18時30分
延長保育	18時30分～19時30分 ※0歳児は延長保育は行いません。	なし
休園日	日曜・祝祭日 年末年始（12月29日～1月3日）	

#### 開園日・開園時間・休園日（保育短時間認定）

開園日	月曜日～金曜日	土曜日
開園時間	8時30分～16時30分	8時30分～16時30分
延長保育	7時30分～8時30分 16時30分～19時30分 ※0歳児は18:30まで	7時30分～8時30分 16時30分～18時30分
休園日	日曜・祝祭日 年末年始（12月29日～1月3日）	

#### 6. 利用の開始及び終了に関する事項 【2号・3号認定子ども（保育認定）】

利用者の決定	市区町村が行う利用調整による
退園理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育実施基準に該当しなくなったとき</li> <li>・ 家庭での保育が可能になり、転出されるとき</li> <li>・ 妊娠、出産、疾病介護などの入所期間が定められている場合は承諾期間満了後</li> <li>・ 在園しているお子さんが長期にわたり登園しない場合(届け出なく1か月以上欠席した時や病気・ケガなどの理由で2か月以上欠席した時)</li> <li>・ 育児休業を取得している方が、入園後1か月以内に職場復帰できない場合</li> <li>・ 既にお子さんが在籍している方で、下のお子さんを出産し、生まれたお子さんが満1歳になった年の年度末を越えて育児休業を取得されている場合、上のお子さんは退園となります。(保育年齢に上限のある保育園に在籍しているお子さんが生まれたお子さんが満1歳になった年の年度を達する前に卒園を迎えた場合は、その後、育児休業を取得しながら保育を継続することはできません。)</li> </ul>

## 7. 利用料等

利用者負担（月額保育料）	利用子どもが居住する市区町村が定める利用者負担を市区町村へお支払いください。		
延長保育料	保育 標準時間	スポット（1回当たり）	500円
		月1月当たり	4,000円
	保育 短時間	7:30～8:30・16:30～18:30	500円
		18:30～19:30	500円
<p>※閉園後の保育（0歳児は18:30に閉園となります。）は災害時等やむを得ない場合のみ10分500円でお預かりいたします。</p> <p>（その他の場合におきましてはお預かりできませんので、知人の方など対応していただける方の確保をお願いいたします）</p>			

※月額料金は前払いとなります。月中に集金袋をお渡しいたしますので、毎月27日までに翌月分をお支払いください。

※スポット料金は翌日払いとなります。用紙に保護者名・園児名を記入の上、利用料金と共に現金袋に入れて事務室までお持ちください。おつりのないようご協力をお願いいたします。

## 8. 保育中の怪我や事故について

- ・保育中にケガや容体の変化等があった場合は、あらかじめ保護者が指定した緊急連絡先へ連絡をします。
  - ・保育中にケガをし、医師の専門的治療を必要と判断した場合は、原則として保護者の方に連絡をした上で、保育園で医療機関を受診します。受診先により保護者の方に直接説明を聞いていただく必要があります。その際は来院のご協力をお願い致します。
  - ・保護者と連絡が取れない場合には、身体の安全を優先させ、当保育園が責任を持って対応致します。
  - ・保険証のマイナ保険証移行に伴い、令和7年度より保育園での保健証写しのお預かり、または受診後のマイナカードのお預かり等を行いません。保育園にて医療機関を受診した際には、ご連絡を入れさせていただきます。保護者の方のご来院をお願いいたします。
- やむを得ず受診時間内のご来院が難しい場合には、後日ご家庭にて期日内に受診先医療機関（薬局含む）にご訪問頂き保険証の提示をいただけます様、よろしくをお願いいたします。

スターツケアサービス(株)では下記の保険に加入をしております。

保険の種類	独立行政法人 日本スポーツ振興センター	公益社団法人全国私立保育園連盟
保険の内容	災害共済給付	園賠償責任保険
保険金額	医療費・・・保険診療の医療費総額の4割 障害見舞金・・・第1級（4,000万円）～ 第14級（88万円） その他	対人・・・1名2億円/1事故10億円まで 対物・・・1事故200万円まで

## 9. 虐待の防止について

### (1) 職員の虐待防止のための措置

利用する児童に対する虐待を防止するため、保育士に対する研修を行います。  
年4回の虐待防止セルフチェックを実施します。

### (2) 家庭における虐待防止のための対応

虐待の前兆を見逃さぬよう、利用児童や家庭の様子に注意を払うとともに必要に応じて関係機関への通報などを行います。また保育士と保護者との交流を通じ、育児への不安や悩みに対し支援を行い育児の負担感を軽減します。

## 10. 個人情報の取り扱いについて

当園で知り得たお子様、保護者様、及びそのご家族等に関する個人情報は、個人情報保護法に基づいて、適正に取り扱いいたします。

## 11. その他留意事項

当該重要事項説明書の記載事項に変更が生じる場合には、事前にご説明いたします。

## 12. 保育内容に関する相談・苦情

利用時間 9:00～17:00 担当者が不在の場合は、当園職員までお申し出ください。

受付担当者 : 東綾瀬きらきら保育園 主任  
問題解決責任者: 東綾瀬きらきら保育園 園長  
東京都足立区東綾瀬 2-17-8  
TEL 03-5682-2620  
FAX 03-5682-2621

### 運営に関する相談・苦情受付窓口

スターツケアサービス株式会社  
東京都江東区木場5-8-40 12階  
TEL 03-6880-3270  
FAX 03-6880-3261

### 第三者委員（保育園の運営に関して客観的なご意見をいただきます）

安生 道代（保育士・園長）  
東京都足立区東綾瀬3丁目9番1 TEL 03-5613-8851

高原 香世（保育士・園長経験者）  
東京都葛飾区堀切3-6-5 TEL 03-5698-9233



東綾瀬きらきら保育園

園の自己評価

  
スタートケアサービス株式会社

## 東綾瀬きらきら保育園の自己評価

**【評価の基準】**

- A 大変良くできている
- B できている
- C 概ねできているが、今後に向けて改善する余地がある
- D できていない、要改善

記入日： 令和 8年 2月 16日 氏名 高坂 知恵

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
に保 つ育 い目 で標	① 保育方針・保育目標は職員間で共有理解を図っている。			○	
	② 保育方針・保育目標が活かされるような保育内容を考えている。		○		
	③ 目標は前年度の反省を活かしている。		○		

○評価の根拠 ●改善策

- 保育方針・目標はことあるごとに口にし、また活かされるよう職員と保育を語り合う機会を多くし日々進めているため、ほとんどの職員が理解し保育を行っていると自負しているものの、職員の中にはまだ理解に届かない者もあり、100%と言い切れない。今期保育方針等のミニテストなども行ったことで関心はより高まっている。
- 定期的にテストを取り入れるなど関心を持てるような働きかけを行う。

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
保 育 内 容 に つ い て	① 計画指導は乳幼児の実態に配慮して作成している。	○			
	② 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○		
	③ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができ、見通しを持ちながら進めているのか。		○		
	④ 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○		
	⑤ 素材・用具を適切に活用しているか。	○			
	⑥ 園内研修は評価結果を基に保育の改善に努めているか。			○	

○評価の根拠 ●改善策

- 指導計画に合わせ各クラス保育を進めているものの、個々の保育力には差があり、見通しが持てている者、環境が整っている物など、質は一定ではないと感じているため。
- 保育力を向上、一定にするため園長、主任、保育リーダーが主となり都度丁寧に指導するとともに、他者の保育を見る機会を作り、自身で足りない点を見つけていけるような働きかけを行っていく。

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
つ食 い育 てに	① 食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせ、食育計画を立て、実践している。		○		
	② 旬の食材や行事食を取り入れ、様々な食材に触れ、味わえるようにしている。			○	
	③ 評価結果を元に食育の改善に努めている。			○	

○評価の根拠 ●改善策

- 基本的には委託している給食業者が対応してくれており、またクラス毎にも子どもの関心、季節に合わせた食育活動を積極的に取り入れ行うことが出来ている。
- 業者との連携を図ってはいるもののむづかしい点も多く、園は園で食育を行っている部分が多いためより連携を取りともに食育を行う方法を取り入れていきたい

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
行 事 に つ い て	① 1日の流れ（デイリープログラム等）は現行で良いか。			○	
	② 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしている。			○	
	③ 行事のねらいや実施回数などの内容を検討し、改善に努めている。		○		
	④ 計画・実施・評価・改善の体制をとっている。		○		
	⑤ 保護者の願いや意見を取り入れている。			○	

○評価の根拠 ●改善策

- 職員とよく話し、理解を図りながら現状のデイリーを進めており、理想に向かい進めてはいる。
- まだまだ改善すべき点は多く、実践できている職員、そうではない職員と統一はむづかしい状態のため丁寧な指導の下統一を図っていきたい
- 保護者の要望にはしんしみにみみをかたむけていないにたいおうをおこなっているものの、すべてをかなえることは難しく出来ること、難しいことを都度明確にし、説明を行っているがすべての方に同様の理解を得ることは難しく、伝え方により工夫が必要と感じているため。

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
組織・運営	① 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営委に携わっているか。			○	
	② 職員間の連携がとれ、報告・連絡・相談等ができ、協働できる体制になっている。			○	
	③ 係や仕事の分担・割り当ては適切か。			○	
	④ 職員の意見を聞いたり、話し合う場を定期的に持っているか。			○	
	⑤ 打ち合わせ回数・時間・内容は適切か。			○	
	⑥ 年齢別目標は、保育目標や乳幼児の実施に即して設定しているか。			○	
	⑦ 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。			○	
	⑧ 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。			○	
	⑨ 評価・資料（記録）を集積しているか。		○		
○評価の根拠 ●改善策					
<p>○ 職員により理解度や達成度はまばらであり、できる職員に仕事の比重が偏ってしまっている現状もあり、満足いく状態とは言えないことが多いため</p> <p>● 指導担当者をつけ個別に指導を行いながら共通理解を進めていく</p>					
項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
保健・安全指導	① 危機管理意識を持ち、緊急時の対応できる体制・マニュアルの作成、保健対策を講じているか。		○		
	② 避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか。		○		
	③ 保育士・調理員が連携し、アレルギー児や提供方法等に対する環境・体制にあるか。		○		
	④ 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○		
	⑤ 乳幼児の安全のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○		
○評価の根拠 ●改善策					
<p>○ 上記項目通り作成・啓発・連携を滞りなく行っている</p> <p>● 全員の理解を深めより良い環境・態勢を整えるために研修を取り入れより強固な体制づくりを行う</p>					
項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
園内外研修	① 研修は保育目標の具体化につながるものであるか。			○	
	② 園内研修の計画・運営は適切か。		○		
	③ 研修の成果を日常保育に活かし、乳幼児の育ちに反映できているか。			○	
	④ 各研修会・講習会等への参加体制ができているか。			○	
	⑤ 各種研修会・講習会等での内容を園内に報告・還元しているか。			○	
○評価の根拠 ●改善策					
<p>○前年度より研修内容も変化しより現場に還元できるものにし取り組んでいるものより生きた研修にするために工夫しており、実施後の変化もここに見られるようになってきているため</p> <p>●研修内容の精査を行うとともに、どのようにしたらより生きた研修になるか、研修をする側の工夫を 行っていきたい。</p>					
項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
園内情報	① 乳幼児や保護者に関する個人情報を通正に取り扱っているか。		○		
	② 公文書收受・発送・処理を適切に行っているか。		○		
	③ 各帳簿は適切な方法で作成・処理しているか。		○		
○評価の根拠 ●改善策					
<p>○決められたとおり行っている。</p> <p>●紙ベースでの対応が多かったが少しずつデータ管理に変化する中、紙ではないからこそ情報漏洩につながらない様より丁寧な対応を行っており安全性を留意したデータ保管などの改善を行いたい</p>					

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
施設 備設	① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○		
	② 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管されているか。			○	
	③ 掲示板・掲示場所を適切かつ効果的に活用しているか。			○	
○評価の根拠 ●改善策					
<p>○ 完全にできているとはいえ課題が多いため</p> <p>● 日々の業務の効率化を行い目・手が届くような環境を整えていきます。</p>					
項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
園外 交流・ 情報	① 積極的に地域の文化や生活に触れ、地域との関係が適切に保たれているか。			○	
	② 乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。			○	
	③ 事業所職員の保育体験及び保育施設見学を受け入れる時は、その目的や意義を理解・確認しているか。		○		
	④ 保育園から各種便りを定期的に発信しているか。		○		
	⑤ 保護者などから問い合わせがあった場合に、自園または地域の子育て支援に関する情報を提供しているか。		○		
	⑥ 医療機関・児童相談所等の専門機関及び提携園について保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○		
○評価の根拠 ●改善策					
<p>○ 内容を満たせているとは感じている。</p> <p>● 完全とは言えず発信の仕方、発信場所を広げより情報が行き届きやすくしていきます。</p>					
項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
評外 価部	① 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○		
	② 苦情解決の体制づくりはできているか。		○		
○評価の根拠 ●改善策					
<p>○ 意見はきちんと受け止め動きが明確にあったことが感じ取れるようにしています。</p> <p>● 自信の力量が十分でない為100%の満足感を与えることができていない為、より様々な声に耳を傾け対応していきます。</p>					

ご意見・ご要望・苦情解決の仕組みについて

当園が提供する福祉サービスについて、ご意見・ご要望又苦情に対し、適切に対応する体制を整え、苦情解決に努めております。

〈保育内容に関する相談・苦情受付窓口〉

〒120-0004 東京都足立区東綾瀬 2-17-8

TEL 03-5682-2620

FAX 03-5682-2621

受付担当者 : 東綾瀬きらきら保育園 主任

問題解決責任者 : 東綾瀬きらきら保育園 園長

〈運営に関する相談・苦情受付窓口〉

スタートケアサービス株式会社 本部

〒135-0042 東京都江東区木場 5-8-40 東京パークサイドビル 12階

TEL 03-6880-3270

FAX 03-6880-3261

第三者委員

他保育園 園長 1名

他行政区保育園 園長 1名

〈公表〉

令和7年度 第三者委員会が招集される相談・苦情はございませんでした。

令和6年度 第三者委員会が招集される相談・苦情はございませんでした。

令和5年度 第三者委員会が招集される相談・苦情はございませんでした。

令和4年度 第三者委員会が招集される相談・苦情はございませんでした。

令和3年度 第三者委員会が招集される相談・苦情はございませんでした。

〈第三者評価結果について〉

東京福祉ナビゲーションにて結果を公開しております。







詳細はこちら> [評価結果 \(fukunavi.or.jp\)](https://fukunavi.or.jp)








## 東綾瀬きらきら保育園

# とうきょう すくわくプログラム活動報告 2025 年度

テーマ	運動
設定理由	日常の遊びの中や体操教室を通し、適切な体の動かし方を知り、運動あそびを十分に楽しんでほしい。また、走る・跳ぶ等の動きのみではなく、道具を使用した際の体の動かし方、力の調整の仕方を身に付けられるようにする。
スケジュール	・体操教室（3～5歳児）・プール教室（4～5歳児） ・ボール投げ、中当て、ドッチボール ・縄跳び、長縄・固定遊具（すべり台、階段）
道具・環境	・体操教室・プール教室・大型固定遊具・ボール・縄跳び（1人用）・長縄・トランポリン・園庭トラック使用
活動内容	①かけっこ、鬼ごっこ等の走る動きを保育者や友達と楽しむ。走って止まる、走るスピードの調整など、細かい動きを入れながら遊びを楽しむ。 ②トランポリンや鉄棒を使用し、道具を使いながら跳ぶ・回るなどの基本的な体の動かし方を楽しむ。 ③固定遊具（階段・すべり台）を使用し、基本的な体の動かし方、体を使用する遊びの楽しさを味わう。（乳児クラス） ④ボールを使用し、ボール投げ・中当て・ドッチボールと段階を踏み、道具を使用する際の体の動かし方、力の調整、バランスの取り方を経験し身につけていく。 ⑤縄跳びを使用し、縄のコントロールの仕方、回す・跳ぶを同時に行う際の難しさを経験しながら、様々な体の動かし方を身につける。大縄に移行し、縄のタイミングを図り動き出したり、友達と息をそろえて跳ぶ楽しさを味わう。 ⑥プール教室や体操教室に参加することで、全身を使った運動の仕方や様々な運動遊びの楽しさを味わいながら、基本的な体の動かし方や怪我に繋がらない体の使い方を身につける。
子どもの姿声	<p>①園庭を使用し、友達や保育者とかけっこや鬼ごっこを楽しむ。「どうすると速く走れるの?」という子どもの声がある。腕の振り方や足の運び方について話しをし、一緒に走ることによってコツをつかむことができると、友達と共有し、より遊びを楽しむことができた。コーナーを曲がる際や怪我の防止のため、走るスピードの調整も行いながら楽しむ姿がある。</p> <p>また、園庭に固定遊具を設置することで、乳児クラスの児が安全に全身運動を楽しめる機会を作ることができた。保育者と一緒に階段の昇り降りを楽しんだり、上半身を起こしすべり台をしたりと基本的な運動あそびを楽しむ姿がある。</p>  <p>ここまで一人でできたね! すべり台も上手にできるようになったよ</p> <p>②③トランポリンを提供することで、バランスを取りながら跳ぶという動作を楽しむ姿がある。（1～5歳児） 鉄棒を使用し、自身の体を支える・ぶら下がる（0～5歳児）、体を支えながらバランスを取る・体を回す（3～5歳児）動きを楽しむ姿が見られる。年上児の姿を見て真似をしたり、友達同士でやり方を伝え合い、できることを増やす姿に繋がった。 ④ボールを出すことで、基本的なボール投げを楽しむ。投げ方、取り方を知り中当てやドッチボール遊びに広がる。投げる方向のコントロールの仕方、力の調整を遊びの中で身につける経験になった。 ⑤個人用の縄跳びに興味を示し、やり方を教わり行おうとする。また、年上児への憧れを伝えることで、年上児が跳び方や腕の使い方を教え、子ども同士で助け合い、遊びの広がりにつながる。 長縄を提供することで、一人用とは違う縄の回し方やタイミングを図って跳ぶ難しさを経験し、意欲的に行うことでタイミングに合わせて体を動かす方法を身につけることができた。「100回跳ぶ」という目標を自分たちで設定し、どのように跳ぶと良いのか考え、実践し、子ども同士で良かった方法・結果を共有し合っている姿が見られた。また、友達と一緒に跳ぶ際の注意点や息の合わせ方などを自分たちで考え、実践し成功体験に繋がることができた。</p>  <p>自分たちで回してみよう。 跳びやすくするには大きく回した方がいいかな。</p> <p>⑥体操教室（月2回）プール教室（夏季）を定期的に行うことで、講師から基本的な体の動かし方や体の使い方を教えてもらう機会になった。体の使い方を身につけることで怪我の防止に繋がったり、できたという成功体験が自信に繋がりと、より様々なことに挑戦しようとする姿に繋がった。</p>  <p>一人で跳べるようになったよ! 5段にも挑戦してみたよ!</p>
振り返り	走る・跳ぶなど基本的な体の動かし方から、ボールや縄跳びなどの道具を使用することで力の強弱などのコントロールの仕方を身につけることに繋がった。また、鬼ごっこやドッチボールなど、ルールのある遊びを取り入れることで遊びの中で、楽しみながら様々な体の動かし方を知ることができた。 体の使い方やバランスが取れるようになると、自分たちの中で目標を設定し、達成するために必要なことを考え、実践する姿があった。実践から良い点を共有し、皆で目標に向けて協力し合う姿も見られた。 定期的な体操教室やプール教室を取り入れることで、基本的な体力・体幹の向上や成功体験からの自信に繋がった。継続的に行うことで、年齢や個々に合わせた取り組みになった。 運動を通し、体の使い方、バランス感覚のみでなく、友達と一緒に目標に向けた過程を共有し合う力に繋がった。また、体の使い方を知ったからこそ、より運動あそびを楽しんだり、新しい技に挑戦しようとするなど、現在も継続して楽しむ姿が見られる。

テーマ	色
設定理由	色探しや塗り絵の色塗りなど、色に興味、関心を持つ姿がある。また、混色やグラデーションなど色の変化に興味を持つ姿が見られるため。
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色水あそび（2,3,4歳児）</li> <li>・氷絵具（3歳児）</li> <li>・寒天遊び、片栗粉粘土（2,4歳児）・クリア玩具（マグフォーマー）</li> <li>・マーブリング（5歳児）</li> </ul>
道具・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵具・食紅・片栗粉・寒天・カップ・スプーン・タッパー・製氷皿・パステル・スケッチブック</li> <li>・マグフォーマー</li> </ul>
活動内容	<p>①色水を作り、色の見え方、水への溶け方を楽しむ。</p> <p>②色と色を混ぜ、自分の思い描く色づくりを行ったり、グラデーション作りなど、色の変化や特性を知る。</p> <p>③寒天、片栗粉を使用し、色の溶け方や混ざり方を楽しむ。また、絵具ではなく食紅を使用した色のつき方、変化を知る。</p> <p>④マーブリングを使用し、色が混ざらない技法、色の不思議について触れる。</p> <p>⑤クリアカラーの玩具から、光が通ること、光が入ると色の見え方が変わること気づく。</p>
子どもの姿・声	<p>①水に絵の具が溶ける様子を見て、「色が広がっている」と喜ぶ姿がある。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>全部に広がった！広がると薄い色に見えるね。</p> </div> </div> <p>②「〇〇色になった」「好きな色を作るためにはどの色を混ぜるといいのかな？」と混色を楽しむ姿がある。混ぜる色の量で色や濃さが変化すること、濃い色と薄い色での混色は濃い色が際立つこと等に気づく姿がある。友達の配色を気にしたり、混ぜる配分を相談する姿がある。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>薄い青と濃い青を混ぜるともっと濃い色になったよ！ その色を作るのに、何色を使った？</p> </div>  </div> <p>③水以外のもの（寒天・片栗粉）を用意し、子どもの前で色づけをすることで、色の付き方に興味を持つ。また、素材の違いから「きらきらする（透き通った色）」等の発見を楽しむ。また、食紅の色の鮮やかさに気づく。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>水と違ってきらきらして見えるね！ 透明の色みたいだね！</p> </div> </div> <p>④絵具や食紅と違い、色の混ざらない絵具（マーブリング用）があることを知り、色が混ざらないからこそその模様に興味を持つ姿がある。</p> <p>⑤クリアカラーの玩具に光を当てるとどのように見えるのか疑問を持つ姿がある。実際に光に当て、「周りが全部〇〇色に変わった」「きらきら光っているように見える」と、気づいたことを友達と共有し合っていた。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>赤色の世界になった！ おもちゃを重ねると、新しい色の世界になったよ！</p> </div>  </div>
振り返り	<p>様々な色、素材を用意することで、普段触れている「色」について関心を深める姿が見られた。色を混ぜる際の色の配分で濃さが変わること、濃い色と薄い色の作り方、素材が違えば色の見え方が違うこと等、実際に自分たちで経験、発見をしながら色の仕組みについて知ることができた。また、発見したことを友達同士で共有し合い、知識を広げる経験に繋がった。</p> <p>今年度の経験から、身近な物の色に興味を示したり、色の違いや見え方の違いを楽しむ姿が継続して見られている。今後も子どもの気づぎに応えながら、引き続き色や光の世界を楽しめるようにしていく。</p> <p>5歳児はマーブリングを行うことで、色が混ざらない素材があること、混ざらないからこそその模様の付き方を知ることができた。全ての活動を通し、自分たちで探求していくことで結果を得られる経験を積むことができた。</p>

テーマ	世界交流
設定理由	歌や遊びを通して外国語（英語）に興味を持つ姿が見られたため。また、月に2回の英語教室を通し、異文化に触れる・身近なものの英単語に触れる楽しさを味わってほしいという思いのため。世界には様々な人がいろいろな文化、言葉などに違いはあるけれど、違いがあってもつながれる、仲良くなれることに気が付き、違いに興味を持ち、関心を深めつつ、世界に目を向けていけるようにする。
スケジュール	・英語教室（2～5歳児）（月2回）・ハロウィンパーティー（英語教室内）・クリスマス会
道具・環境	・外部の講師派遣・SDGs絵本
活動内容	①月2回の英語教室で、外国人講師と触れ合い、挨拶や身近なもの（色、物、動物、数、等）の英語単語を知り、発音を楽しむ。 ②聞きなれた歌の英語での歌唱、体操を行い、楽しみながら外国語（英語）に触れる。 ③異文化（言葉・行事）について触れ、知識を広げる。 ④少しずつ日本語と英語がリンクするようになり、様々なものの英語での表現を知ろうとする。
子どもの姿・声	<p>①講師の真似をして、英語の発音や挨拶をしようとする姿がある。回数を重ねると、自ら講師に「hello!」と挨拶をし、触れ合いを楽しんでいる。身近な動物の真似をしながら、英語での発音、鳴き声の表現に違いを楽しむ姿がある。保育者と一緒に活動に参加し講師の真似をすることで、不安そうな姿も見せず楽しんで活動に参加する姿がある。</p>   <p>英語の発音が難しいけど、先生と一緒にだと、上手にお話できた！</p> <p>②きらきら星など聞きなれた歌を英語で歌い「難しいけど、歌えたよ」「〇〇の歌、英語で歌えるんだよ」と喜び姿がある。ダンスが人気であり、ダンスをきっかけに洋楽に興味を示す姿が見られる。踊りたい曲のリクエストをし、提供することで楽しんで行う姿が見られた。</p> <p>③ハロウィンパーティーやクリスマス会を通し、異文化の行事に触れることができた。由来を講師に教えてもらうことで、正しい行事の意味と日本との捉え方の違いを知るきっかけとなった様子である。「かぼちゃがたくさん採れたお祝いをしているんだ」と、得た知識を友達同士で共有し合い、広げることができた。また、他国の文化に触れることで、様々な国の現状や生活の様子に興味を持ち、図鑑やSDGs絵本を使用し、考え方の違いや生活様式の違いがあることに気づききっかけとなった。</p>  <p>サンタクロースは日本じゃなくて、フィンランドっていう遠い国から来たんだよ。フィンランドはどんな言葉を使うのかな。</p>  <p>④「〇〇は英語でなんて言うんだろう」という疑問に、自ら講師に声をかけ答えを得る姿があった。また、講師の出身地の言葉での挨拶を知ろうとし、図鑑や絵本から答えを見つけ、積極的に外国語に触れ、コミュニケーションを取ろうとする姿が見られた。言語が違ってても仲良くなれることに気づき、世界に目を向ける姿が見られた。</p>  <p>先生の生まれた国は〇〇。英語でお話するんだって。どんな食べ物を食べるのかな。</p>
振り返り	月に2回程度の活動ではあるが、実際に他国の人と触れ合いながら、自分たちとは違う言語に触れることができる機会になった。身近なもの、歌、ダンスなど、子どもたちが興味のあるものから外国の文化や言語に触れるため、苦手意識なく取り組める活動となった。回を重ねることにより英語に興味を持ち、身近なものの外国語の発音を知ろうとし、自ら絵本や図鑑を用いて知識を得ようとする姿につながった。また、言葉だけでなく他国の文化や生活様式にも興味を持つきっかけとなり、SDGs絵本や図鑑を見て世界の現状や文化の違いを知る姿に繋がることができた。しっかりと調べることで違いをマイナスなイメージではなく、プラスのこととして受け止め、世界に目を向ける姿があった。現在では、身近なものの英語での発音を楽しんだり、世界の言語や文化を積極的に知ろうとする姿が見られているなど、継続的な活動となった。

テーマ	動植物	
設定理由	動植物とのふれあいの中で、“興味を持つ”“観察する”“育ててみる”“食する”など、観察や体験を通して五感を刺激し、興味や探求心を深めていく。	
スケジュール	①野菜や花の栽培、収穫を通して育てることの大変さや、収穫ができた喜びを感じる ②身近な動物に触れたり、飼育を通して親しみを持ったり、命の尊さを感じる	
道具・環境	・野菜の苗 ・野菜の種 ・肥料 ・土 ・虫かご・土・木の枝、葉・石・画用紙（白、黒）・箱・模造紙 ・動物の展示（移動動物園）（水族館）・みかんの木設置（移動果樹園）	
活動内容	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>畑で栽培したい作物を子ども達と決める</li> <li>育て方を調べ、苗や種を植える</li> <li>水やりや間引きなどのお世話をを行う</li> <li>収穫物がどの様に見えるのか観察をしたり、収穫できた喜びを体験する</li> <li>自然の恵みに感謝の気持ちを持ちながらクッキング活動を通して調理をする楽しさや食べられる喜びを感じる</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ダンゴムシの育て方を調べ、飼育してみる</li> <li>マインドマップを作成し、発見や疑問点を共有する</li> <li>マインドマップをもとに、観察や実験を行う</li> <li>小動物や爬虫類、海の生き物などにも興味関心を広げ、実際に見たり触れたりしてみる</li> <li>生物についての意識を深めるとともに、興味関心を深めたり広げたりする楽しさを味わう</li> </ul>	
子どもの姿・声	<p>園庭の畑の活用の仕方を子ども達と相談し、サツマイモ・にんじんを育てる。</p> <p>育てるものを相談していく中で、育てる時期にあった作物はどんなものがあるか、虫や鳥から作物を守るためには、どのような対策をしたら良いのか図鑑などを使いながら調べていった。</p>  <p>マリーゴールドと一緒に植えておくと、虫から守ってくれることが分かったよ！</p> <p>育てていく中で、植物も暑さや水不足など環境によって成長が左右されることが分かった。うまく育たなくても、観察やお世話をすることで親しみを持ったり、食べ物への感謝の気持ちを持つ姿が見られた。</p>  <p>サツマイモは無事に収穫できたよ！みんなで相談をしてスイートポテトを作ったよ。</p> <p>移動果樹園では、みかんを手に取りながら重さや香りを感じたり、色の違い（育ち具合）によって味の酸味が違うことを知り、五感を刺激した体験をすることができた。</p>  <p>緑のみかんは酸っぱくて、オレンジのみかんは甘かったよ！どうしてか、みかん博士が教えてくれたよ。</p>  <p>収穫後はみかんジュースやフルーツサンド作りをしたよ！</p> <p>自分で収穫し収穫物を嬉しそうに持ち帰ったり、調理したりする姿から、身近な自然に親しみを持ち植物の成長や自然の恵みに感謝の気持ちを持ちを育むことができた。</p>	 <p>園庭でダンゴムシをたくさん見つけたよ！みんなで飼ってみたい。ダンゴムシは何を食べて育つのかな？</p> <p>図鑑を使ってダンゴムシについて調べ、疑問に思ったことなどマインドマップを作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オスとメスの違いって何かな？</li> <li>明るいところと暗いところ、どっちが好きかな？</li> <li>水の中に入れるかな？</li> </ul> <p>などの疑問が子ども達からあげられた。子ども達と実験に必要なものを準備し、ダンゴムシの生態を調べられるようにした。</p>  <p>ダンゴムシ用の迷路を作って実験したよ！</p>  <p>ダンゴムシの体が乾かないように、暗くて湿った土のお家にしたよ！</p> <p>ダンゴムシの飼育を通して、環境によって行動が変わったり、生き物は自分に合った環境を選びながら生きていくことに気づくことができた。小さな生き物でも自分の命を守るために工夫をしていることから、命の尊さを感じることもできた。</p> <p>このことから、他の動物はどのように生きているのか興味を持ち、実際に見たり触れあえる環境を整えた。</p>  <p>水族館に行き、海の生き物も見ることができたよ！</p> <p>動物とのふれあい活動では、ドキドキしながらもやさしく触れようとする様子が見られ、小さな命を大切にしようとする気持ちを育むことができた。</p>
振り返り	栽培活動や収穫体験を通して、植物を育てる大変さを感じることができた。実際に自然環境に合わせて育てることの難しさを体感し、食べものへの感謝の気持ちを育むことができた。また、収穫をしてからクッキングまでの活動では、五感を刺激しながら活動に取り組む姿が見られ、興味関心を深めることができた。今後も身近な植物に触れる活動を重ね、興味関心や探求心を深められるようにしたい。	

テーマ	木育
設定理由	日本伝統である木の文化にふれ、様々な木材に触れてみることで、触感や香り、色味の違いに気づいたり、木の温もりを感じることで親しみを持てるようにする。また、木に触れることで、想像力豊かにモノづくりを行う力を育んでいく。
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容① (10月～11月)</li> <li>・活動内容② (12月)</li> <li>・活動内容③ (12月～3月)</li> </ul>
道具・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木の端材 ・マジックペン ・ポンド ・スパチュラ ・紙やすり ・SDGsの絵本 ・アクリル絵の具</li> <li>・一條木材さんによるワークショップ体験</li> </ul>
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な自然物に親しみを持ち、枝や木の実を使った制作を楽しもう。</li> <li>・家具や文房具を作る際に出た木片を使って、遊んだり自由制作を楽しもう。</li> <li>・SDGsについて、考えてみよう(12・15)</li> <li>・使わなくなったテーブルを再利用できるようにしよう。</li> </ul>
子どもの姿・声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんぐりにも色々な種類があることに気づき、帰園後に図鑑で調べる姿が見られた。身近な自然物に興味をもち、自然物を組み合わせて1つを作る楽しさを味わうことができた。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">      </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木を育てて木材として使えるようになるまで、数十年もかかることを知り驚いていた。色々な木が木材として使われていることを知り、色や香りの違いに気づくことができた。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  <div data-bbox="566 974 869 1176" style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>ヒノキ・松の木・杉・もみの木の特徴を教えてくださいましたよ！ 木材によって色や香りが違ったよ！</p> </div>   </div> <div data-bbox="941 1164 1364 1265" style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-left: auto;"> <p>端材を組み合わせて、カメラやミニカーを作って遊んだよ！</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsに関する絵本の読み聞かせを行う中で、自然環境に目を向けた声があった。資源を大切に使うことの必要性に、気づくことができた。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="375 1388 678 1523" style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>動物の住むところが、なくなっちゃうね・・・</p> </div>  <div data-bbox="949 1388 1340 1489" style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>木をこんなにたくさん切っても大丈夫かな？</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsについて考えていく中で、使われていないテーブルのリメイクを提案すると、「みんなが使ってくれと嬉しいね」など、友達と話し合いながら再利用に向けて取り組む姿が見られた。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
振り返り	<p>今回の活動を通して、子ども達が自然素材に親しみながら、物を大切にする意識を持つ姿が見られた。端材や不要になったものを活用する経験を通して、再利用への関心や工夫する力の育ちが感じられた。また、SDGsに触れていく中で、絵本の内容と自分たちの生活を重ねながら、考える姿も見られ良い機会となった。今後も継続的に木育活動を取り入れ、環境や資源を大切にすることを意識の育成につなげていきたい。</p>